

第1回ビジョン懇談会で出された主な意見と対応

2/4 素案	現 状	意 見 等	対 応 等 (修正版ページ)
P2 下から 4 行 目	「 中心市である備前市と圏域の中心的城市である赤穂市とが連携し、」	定住自立圏推進要綱に基づく中心市は備前市で、赤穂市が中心的城市ということだが、市民にとって分かりにくい。	「 備前市と赤穂市が連携し、中心的城市機能の役割分担を図る。」と修正しました。(P2)
P2	圏域の将来像	<p>目的、理念、将来像の明確化を。目標の明確化を。 将来像に具体的な理念を書くこと。 圏域をこういうまちにしていきたい。地域にしていきたいという、キャッチフレーズ的なもの。 周辺市町のことをもう少し書くこと。 周辺市町の現状が取り組みによりどうなっていくのか、どうしていくのかということも表現をしたほうがよい。 市町の役割分担で市町の位置付けとそれぞれの役割分担をもう少し分かりやすく書くこと。 3 市町の特性、位置付け、役割分担などのわかりやすい記述が必要。</p>	<p>目的、理念、将来像を、キャッチフレーズや図を使い住民に分かりやすく記載しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズ「自然と歴史につつまれた、笑顔あふれる文化交流都市圏」を目指します。(P3.4) ・圏域の全体フレームを図で記載しました。(P4) ・3 市町の役割を記載しました。(P3.4) ・項目ごとに将来像を記載しました。(P4~21) <p>目標人口の数値設定については、各市町の総合計画との関連で現段階では難しいため、今後の検討課題とします。</p>
P4	医療	<p>インパクトが弱い。市民にアピールするような施策をいれた方がよい。せっかくネットワークを組むのだから、救急医療の件で災害のときに対応できる仕組みなどが出来ないか。</p> <p>子供を生み育てることが、人口を増やすのに大事。県北の自治体では、産科の医師が少なくなって、隣の自治体へ行かなければ利用できないという状況もある。そのあたりの仕組みをどうしていくのか、市民向けのサービスを考慮すべき。</p>	<p>今回のビジョンに記載している事業は、住民の目に見えるよう新年度から事業着手できるものを記載しています。</p> <p>毎年事業を見直し、懇談会や各市町の意見をお聞きしながらステップアップしていきたいと考えます。</p> <p>また、このビジョンに記載している事業だけで定住自立圏が形成されるものではありません。各市町がそれぞれ単独で実施しているまちづくり施策を推進していきながら、広域連携施策である定住自立圏構想という制度も活用していくことにより、圏域全体として活性化するものと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のことを記載しました。(P3)